

2021年12月24日(金) 第2857回例会 形式:対面 天候:晴れ 合唱:それでこそロータリー

会長 室伏 学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏 学

12月20日(月)に第9グループの会長幹事会が開催されました。本日はその内容について、ご報告申し上げます。

まず、小田原北RCの中谷元士元ガバナー補佐は 2024-25 年度のガバナーには選ばれず、大和田園 RC の佐々木辰郎さんが選ばれました。過去の例からも 1 回で通るようなものではないのだそうで、来年以降また考えていきたい、と中谷さんご本人が仰っていました。

「トン・タット・ミンフィ」さんには既にお伝え済みですが、「米山記念奨学金終了学生修了式・歓送会」が 2 月 20 日(日)に予定されています。カウンセラーの方も出席対象で、是非行ってあげて欲しいとのことでしたので、神谷会員はご都合付けばご予定ください。

国際奉仕委員長会議が 3 月 6 日(日)に予定されているそうです。国際奉仕委員会の石川博委員長はご都合付けばご予定ください。正式なご案内には、ご欠席の場合に、代わりに会長エレクトだとか、会長だとか、何らかの指定がなされると思います。

また、地区大会 2 日目の 3 月 21 日(月・春分の日)には新世代交流会として、グループディスカッションが予定されています。恐らく入会から年次の浅い方が対象になるかと思しますので、該当する方はそのつもりでいらしてください。

会員増強等、クラブ運営上の課題を問われました。当クラブの課題は入会候補者を見いだすことであり、先日、足柄 RC 遠藤会長からご紹介いただき、順調にお誘いが進んでいる状況を報告するとともに、他の皆様にも湯河原在住、在勤の方でお知り合いがいらしたら、是非ともご紹介いただきたい、とお願しておきました。

ロータリー奉仕デーについてです。中谷元士実行委員長から、人数規模は 170 名弱の予定、小田原城クリーンアップ清掃活動が朝 9 時 30 分から 60~90 分程度で、外部団体も 6 団体が参加します。軍手のみ持参、服装はカジュアル可、たすき着用、小雨決行、大雨中止だそうです。奉仕デー合同例会・講演会・懇親会は受付 15 時 30 分、これまでの IM よりは和

やかなものにして、18 時 50 分終了予定とのこと。合同例会なので、従来の IM 同様に各クラブの旗も飾ります。ネクタイ着用、名札着用で、大雨でも開催するそうです。各クラブの事務局に受付を担当してもらいたいとのこと。

出席報告

会員	25 名	出席率	79.17 %
欠席	6 名	前回の修正出席率	75.00 %
(免除者)	1 名	前々回の修正出席率	91.67 %
ゲスト	0 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

幹事報告

ガバナーより

1. 2024-2025 年度ガバナー・ノミニー確定宣言

大和田園ロータリークラブの佐々木辰郎会員が、2024-2025 年度ガバナーノミニーに確定したことを茲に宣言致します。

連絡事項

次週は規定により休会です。1月7日は17時30分~17時40分が定例理事会で、17時45分~17時55分が例会となります。場所はおんやど恵です。間違えないようお願いいたします。会費は1万円です。

スマイル Box

神谷一博君

DO MORE GROW MORE!!のバッチありがとうございます。

室伏学君

ガバナー月信12月号のクラブ紹介でご掲載されました。

高杉尚男君

このたび、青巒荘さんの取引先で構成する青巒会の会長に選任されました。

石川浩子君

忘年会に会長よりご依頼をいただきましたのでコンパニオンのお手配をさせていただきました。ありがとうございました。

クリスマスケーキをいただいたので全員でスマイル。

2021年最終例会なので全員でスマイル。

卓話

西山 敦 君



皆様こんにちは。令和3年も残すところ1週間余りとなり、新年を迎える準備も始めなければならぬ時期となりました。今日は暮れから正月を迎えるための準備や神祀り(かみまつり)のことについてお話しします。

1. 注連縄の準備について

注連縄(しめなわ)は「七五三縄」とも書きますが、注連縄の張ってある内側は神聖な場所を表します。ごぼう締めは太い方を右側に、紙垂(しで)を4枚つけます。一般に、神前に使う縄などは左縷(ひだりない)にします。左縷の見方は、藁を縫った(よった)溝が「N」の斜め線と同じ方向になっているかどうかです。紙垂の切り方としては、半紙を半分に切り、さらにそれを半分に折り、折目目を上にして横を四等分、そして交互に3分の2ほど切れ込みを入れます。お手元に切れ込みを入れた状態の半紙をお配りしましたので、折ってみてください。

2. 家庭での神祀りについて

続いて家庭での神祀りについてお話しします。

私たちの幸福の根本は家庭の安泰にあるといえます。一家が揃って、神棚の前で心を込めて拝礼し、神に感謝するとともに、家族の除災と招福を祈り、加護を戴けるようにお祈りする事は、祖先より受け継がれ貫かれてきた美風といえます。家庭において神棚をおまつりする事は、勿論家族にとって神を敬うことですが、日本古来の民俗信仰である神道の理念を实践する事でもあります。明治天皇の御製に「目に見えぬ 神にむかひて はぢざるは 人の心の まことなりけり」というお歌がありますが、私たちの神に対する気持は、このお歌に言い尽くされていると思います。私利私欲を捨て、協調や和の精神を社会のために奉仕し、常に清い心を培っていく事が、日本人の生

活の規範であり理想とされてきました。家庭での神祀りは家族一人一人の幸福はもとより家庭安泰のために不可欠なものであります。

3. 神棚の祀り方について

神棚の祀り方をお話しします。

まず、向きや場所ですが、向きは南か東向きとされます。対して仏壇は神棚より低くして東向きです。場所はあまり下も上も通らない所、かつ一家の中心になる神聖な所であるため、清浄で静かな高い所、そして同時に家族にとって親しみやすい明るい所、毎日お供えしたり拝むのに都合の良い所がよいでしょう。

神棚には神聖な場所を表すために用いられる注連縄が必要です。ごぼう締めは編み始め(太い方)が向かって右(上座/神座から見て左側)になるように飾ります。続いて紙垂は普通4枚、注連縄が長いときは偶数枚を飾ります。さらに雲板(うんぱん/くもいた、雲の形をしたもの)は魔除けの意味があるとされ、神棚の上を人が通る場合、半紙に墨で「雲」と書いて天井に張るようにします。なおこの場合、神棚の上にもう一枚天井を張ってもよいとされています。

そのほか、神棚にお祀りするものをお話しします。

神札(おふだ):神宮の大麻・氏神様の神霊(しるし)を遙拝します。祀り方は三社造り(扉が三つ)の場合、扉が一つの場合があります。

神饌(しんせん):米、塩、水を毎日、加えて神酒(みき)、到来ものを都度、台数を多くしてお供えします。神饌の順位は「米、神酒、乾物、魚、野菜、果物、塩、水」で、供え方は神座に近い正面、左側(向かって右)、右側(向かって左)の順となります。手前も同様です。

なお喪中の時、家族が亡くなりお葬式を出す場合は、ただちに神棚のお祀りを中断します。一般に、神棚の前に家族以外の人に半紙を張ってもらい、毎日のお祀りを中止し、亡くなった方の靈魂をまつる事に専念します。親が亡くなったとき、昔は一年間謹み喪に服しましたが、現在は五十日祭が済んで忌明けとなったときに神棚のお祀りを再開します。その際、半紙を除き、お札は神棚に納めます。

4. 歳時記と人生儀礼

お手元に「歳時記と人生儀礼」という冊子をお配りしました。内容は「知っておきたい式のしきたり」「神社の年間祭事」「人生儀礼と厄年(数え年)」「六輝(六曜)」「正式参拝(昇殿参拝)」「十干、十二支を組み合わせた六十干支」などです。

本日はありがとうございました。

(編集 12月会報担当:渡辺久恭/クラブ会報委員会)